

## どうした、まちづくりプロジェクト事業?!

総務

町長肝いりの方針である、役場内を横断する組織（若手中心プロジェクトチーム）で町の未来を描き、課の枠に捉われないで発想を磨き、先進的な行政サービス等の研究事業は、富士見町らしい取り組みの成果を残し施策に繋がられたのか？

答弁

先に掲げたプロジェクトで進められたものもあれば、手を付けられないものもあった。知見として町に残せた実験として、次世代広報システム検証、健康の町づくりがある。横断プロジェクトは若手職員のスキルアップと町の将来に向けた重要な事業。若手職員からの自発的な提案も出始めてきているので、現行のプロジェクトの中でも重要な部分を指摘して、職員からの活発な声には継続を支援できる体制を作る。

牛山基樹はここを評価した

行政当事者が将来を描く大切な事業。  
最大限活発に求む!!



私の注目点

# 評価!!

かび上がった町の課題とは…

## 町財政の牽引力を評価

産業振興

産業振興により事業者の増加とともに、人口の増加、税収の増加を目的として、かかわる事業の在り方、進め方に注目し、当初予算の中に取り入れられたものが、どのような結果として残せるかについて注目してきた。

答弁

産業振興センターの設置は、町内企業の問題点の解決には繋がると考えるが、町外からの企業誘致にはまだほど遠いものがあるとする。法人企業を富士見町に誘致するべく早急に誘致の条件設定に入ることが必要であるが、現状は評価できないところである。

三井新成はここを評価した

農業競争力強化基盤整備事業は、  
町内産業の強化に繋がりと、活路が見えた。



## 新しい農業がスタート 高原の誇り 井戸尻考古館

雇用・調査研究

1. ワインバレー構想で5年間の試験栽培の結果、将来的な見通しが立ったようだが、障がい者の雇用等の見通しは。
2. 井戸尻考古館運営の工夫と調査研究の充実は。

答弁

1. 醸造用ブドウの栽培が本格的にスタートした。諏訪養護学校の生徒にブドウ栽培の定植を行っていただいた。これからも障がい者参加の農福連携を進めていきたい。
2. 調査研究を充実させていきたい。資料収集職員研修についても、課題があるので、一步一步拡充していきたい。

島正孝はここを評価した



ワインバレー構想も井戸尻考古館も、  
将来富士見町観光の目玉となるだろう。

考えよう

# 決算



総務経済、社会文教の各議員が担当する委員会内での注目を、事業実績と照らし合わせ評価をお伝えいたします。

## 重要文書の管理は適切に行われているか

橋梁補修工事

専決処分された補正予算の「橋梁測量設計業務委託料」について、経過と同様の状況にある河川が他にもあるか。

答弁

今回は、宮川が1級河川として認定を受ける前に掛かっていた橋の補修を行うにあたり調査をしていたところ、河川占用の届け出がされていなかったことが判明し、その届け出をするためには復元設計が必要であることがわかったため、補正予算を要求し専決処分した。一つの河川に同様の状況にある橋梁が複数掛かっている。富士見町には宮川の他に、乙貝川、立場川があり、同様の状況が発生するとみている。今後は、設計書などの重要文書については法定保管年数が経過しても保存していくようにする。

小倉裕子はここを評価した



今後の文書管理状況に注視していく。



## 現場確認が大事だ!!

遺跡発掘

町内遺跡発掘調査はどのように行われているか。  
現地調査を社会文教常任委員長に提案し実行。

答弁

社会文教常任委員会に所属する私が特に記す決算の注目点は、文化財保護費の一部に対する発掘調査費である。現地における主幹事務調査を9月16日に行い、作業現場から見た予算執行は、おおよそ妥当な範囲であると自分は確認した。とにかく発掘の作業は炎天下のもと、大変な作業であることも確認できた。

五味平一はここを評価した



汗水の税金を汗流して執行、  
村度は無く妥当である。

## 在宅介護を選択された 家庭介護者に安寧のひと時を

介護

寝たきり老人の介護を行う家庭介護者が心身障害者となってしまう等のケースがあるが、この介護慰労金の発出による成果は

答弁

住み慣れた我が家で在宅介護するということは非常にご家族の負担が大きい方法を選択されていることとなります。このことに対して町としては敬意を表し、感謝を申し上げながら一人8万円を支給しています。寝たきりの状態での介護は精神的な負担に加え肉体的な負担も大きいので、この事業については意義のあることと評価しています。

五味仙一はここを評価した



家庭介護者の心身の現状を担当課は  
良く把握し、高齢者福祉に貢献している。

## 待機児童発生のおそれ

子ども支援

保育園の入所状況は、特に未満児について。

答弁

幼保無償化の影響もあり、希望者が増えている。未満児については町立保育園だけでは受け入れきれず、すずらん保育園に11世帯についてお願いした。現在満杯で、溢れた方については家庭での保育をお願いするか、一時保育で対応せざるを得ない。大きな理由は保育士不足である。

名取武一はここを評価した



このままでは待機児童が生まれるおそれがある、または生まれているかもしれません。早急に保育士を補充し、ゆとりのある保育行政を求めたいと思います。

## 停電対策としての伐採

総務

平成30年度の倒木による停電対策の進捗状況は？

答弁

ライフライン等保全対策事業で町道立沢線168本、乙事広原線115本の電線周辺支障木の伐採を行った。木の処理は、立沢は個人の林が多かった為、業者が持ち出しを行い乙事は区有林だった為、チップ化し区民に利用してもらっている。尚、この事業を優先した為、森林造成事業を縮小して対応した。

名取久仁春はここを評価した



森林整備費を縮小し、ライフライン  
確保を優先した点は評価できる。

# この事業 私はこう

各議員が担当委員会の個別事業に注目！  
個別事業には、厳しい注文も。そこから浮

## 紙類を3市町村で共同処理を

資源活用

来年10月に稼働する諏訪南リサイクルセンターでは、茅野市と原村が紙類について共同処理を行う。新聞、雑誌、段ボールなどを梱包し、福島県の製紙工場に運搬。古紙は新聞用紙に再生され、再び諏訪地方に運ばれ、新聞用紙となり住民に届けられる。目に見える形での完全な「古紙リサイクルネットワーク」である。センター建設の基本理念である「循環型社会の形成」に富士見町も積極参加し、共同処理を行うべきでは。

答弁

紙類の共同処理は町のコスト負担とデメリットが多いと判断している。将来の情勢によっては、共同処理に加わる可能性もある。

川合弘人はここを評価した



共同処理の意義は大きい。  
早い段階で方針を見直してほしい。